

2026 年 1 月 19 日
産業デザイン研究所出版局

書籍『進化思考批判集』に関する催告への対応について

産業デザイン研究所出版局（以下「当出版局」）は、当出版局刊行物『進化思考批判集』（以下「本書」）に関し、太刀川英輔氏および NOSIGNER 株式会社の代理人（シティライツ法律事務所）より、特定の記述（4 箇所）を理由として、本書の発売の停止、回収、表現の訂正、その他の必要な措置を求める通知書を受領いたしました。

当出版局は、本書が学術的検証に基づく批判的検討を目的として編まれたものであること、ならびに当該 4 箇所が、いずれも科学的検証の結果としての意見ないし論評の範囲内に属することを踏まえ、本書の販売停止、回収等の請求には応じません。言論および出版の自由は、学術的な検証や批判において最大限尊重されるべきものであり、本書の内容は公共の利害に関わる事実に係り、かつ、その目的は専ら公益を図ることにありと考えております。

一方で、通知人らが問題とした記述のうち、以下の箇所（本書 61 頁）につきましては、文脈上の「科学的な誤りを拡散し続ける手法への批判」という本質的な意図をより明確にし、解釈上の誤解が生じる余地を最小化する観点から、電子書籍版（PDF 版 1.1.3 以降）において、筆者と協議のうえ、表現の調整を行うことといたしました。

変更内容は以下のとおりです。

【変更前】

「このような科学的な誤りに満ちた内容をセミナーやメディアを通して拡散し続けるのは似非科学を用いた詐欺的商法であると批判されても仕方のないことだろう。」

【変更後】

「科学的根拠を著しく欠いた内容を進化生物学に基づく理論であるかのように広く流布し、セミナーやメディアを通じて商品化・収益化を図る行為であると批判されても仕方のないことだろう。」

なお、本変更は表現の正確性を期すための措置であり、通知人らの主張する権利侵害を認めるものではありません。

当出版局は、今後も学術に対し誠実であることを第一義とし、健全な批評精神に基づく書籍の刊行を継続してまいります。

以上